

一般財団法人 滋賀県民間社会福祉事業職員共済会
地域共生型社会推進事業助成金

事業完了報告書（公開用）

1、概要

報告日	西暦 2020 年 4 月 29 日
報告者	馬場 真鯉
助成団体名 (所属団体名)	一般社団法人 育ママ教室
団体住所	〒 523-0893 滋賀 <small>都道府県</small> 近江八幡市桜宮町 210-11
団体電話番号	0748 — 26 — 5344
代表者 (助成対象者)	馬場 真鯉
助成対象事業	「親子・子育て教室「みんなであそBOW！」
事業（助成）期間	2018 年 4 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日
事業費総額	1,140,052 円
助成金総額	1,000,000 円

※住所・電話番号等は団体のものを記載し、個人情報に関わることは記載しないでください。

次ページ以降に「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」を簡潔に記載してください。

注意事項

- ①共済会ホームページに掲載しますので**個人情報の掲載は禁止**します。
- ②「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」は**合計5ページ以内**で作成してください。
- ③**写真の掲載は原則禁止**しますが、どうしても必要な場合は最小限度に留めてください。
- ④写真を掲載される場合は**必ず撮影対象の方に事前に了承を頂く**ようお願いします。
- ⑤必ず Word ファイルのまま shigakyo@cello.ocn.ne.jp へメールにてお送りください。

2、事業内容

事業内容

0歳～3歳対象 親子教室「サン3広場」

実施 4月～翌3月 月1回（計9/10回）

（8月1月休み、3月は新型コロナ感染拡大防止に伴うイベント自粛要請により中止）

他地域 （計2/5回）

11月親子教室「サン3広場」in 愛荘・1月親子教室「サン3広場」in 東近江

その他、湖南省、守山市、能登川、と開催準備を行っていたが、新型コロナ感染拡大防止に伴うイベント自粛要請により中止となった。

「サン3広場」経験者や、先輩ママに、スタッフ側になってもらい、現場でのサポート、他地域への普及活動も行ってもらった。集団で行う粗大遊びで、社会性につなげ、個性を活かす遊びとして、親子で家庭でもできる、身体を使ったスキンシップと言葉遊びを実施。身体能力の基礎トレーニングとして「大小のボール」を使った遊びを中心に行った。

3歳～小学生 「みんなであそBOW」

実施 11月、12月、1月、2月、3月 月1回（計4/5回）

（3月は新型コロナ感染拡大防止に伴うイベント自粛要請により中止）

「みんなであそBOW」

保護者にレクチャーを行い、その後、実際に親子、家族で取り組む中で、個別にアドバイス、サポートを行った。11月のイベントでは本年度より「こどもスタッフ」を導入。今までイベントに継続的に参加していたこどもを対象に事前に親子でトレーニングをしてもらい、当日、こども同士で「積み木」「ボードゲーム」で遊べるエリアを設けた。

育児講座

実施 1月（3回）2月（5回）3月（2/3回）（計10/11）

（3月は新型コロナ感染拡大防止に伴うイベント自粛要請により1回は中止）

年齢別に育児の理論、ワーク、質疑応答、交流会を行なった。

各家庭のライフワークに合った育児を見つけてもらう事を目的とした育児講座を実施。

「子どもの発達と遊び」「遊ぶ力は生きる力・自己肯定感を育むために」

「子どもの発達に合わせたスキンシップとコーディネーショントレーニング」

「積み木遊び」「enjoy think! アナログゲームを親子であそBOW」等

告知宣伝

S N S（LINE@・ホームページ・Facebook・ブログ）、近江八幡市役所から関係各所にチラシの配布と市の子育てアプリに掲載、他地域にはスタッフが持参。また、参加者にも配布し、友人知人にも配ってもらった。

3、事業成果

事業成果

親子教室「サン3広場」

・スタッフ増員、人材育成

3人→5人に増員。登録ボランティア10名→20名

事業を多面的に検証、実践する幅が広がった。参加者へのフォローの充実、参加人数増員に伴う安全面の強化が可能になった。

・告知宣伝

スタッフ増員に伴い、告知宣伝の改善、向上ができた。

参加者のニーズ、運営側の通達事項等、時代の変化に対応しながら、安全確保のルールの周知、育児コミュニティ形成が、紙面（チラシ）、SNSで迅速に対応、発信できた。

近江八幡市役所子ども支援課から子どもセンターへチラシ配送、子育て情報アプリハチピーで情報配信を定期的に行うことで、活動地域行政と情報交換がよりスムーズになり、参加者に地域に密着した情報提供が可能になった。

他地域に活動周知のための営業活動が定期的に行えるようになった。

・参加人数の増員

「サン3広場」

目標 30組/回→56組/回（最終段階）

会員数 150名→222名

1度参加された方からの口コミで広がるケースが多かった。

「みんなであそBOW」

目標 200組→280組

参加者より、「東近江市」「湖南市」「愛荘町」「甲良町」等、他地域から開催要望の声を多数もらった。

「みんなであそBOW」では

本年度からスタッフの子どもを中心に「子どもスタッフ」を導入。

（子どもスタッフとは、来場者の子どもにボードゲームの説明を行う。一緒に遊ぶ。）

子ども同士のつながり、兄弟、知人ではないコミュニティ作りの体験の場と、主体的に活動に関わる経験の場として行った結果、保護者にとって、親子間では見られない、子どもの一面を見ることができ、今までよりもっと大きな視野で育児環境を考えるきっかけになった。子どもスタッフは「もっとこうしたい」「どうしたらもっと上手く説明できるのか」「次のためにもっと練習をする！」など、個々に課題と目標を持って主体的に取り組む姿が多くみられた。

「育児講座」には

父親の参加も多数あり、体を大きく使った遊び、ロジカルに思考するボードゲームなどに人気が集まり「これだったらできる」と、親子で熱心に取り組んでくれている姿が多くみられた。

「オンラインの導入」

遠方なので継続的に参加が難しい。という声と、コロナウイルス感染予防対策に伴う自粛要請が重なり、オンラインでの活動を視野に準備を進めた。オンラインシステムの導入は、「zoom」を利用。スタッフが各家庭からスマートフォン、パソコン、タブレットなどで接続テストを行い、子どもたちにも参加してもらい、実用化に向けてシミュレーションを行った。専門家にも意見を聞き、リスク回避のシステム構築、準備も行った。

4、今後の課題など

① 親子教室「サン3広場」

・組織化

参加人数が当初の予定より1.5倍ほど多く、会員数、問合せ、SNSの閲覧数などから、今後も増加する事が予想されるため、タイムスケジュールの見直し、スタッフの増員、役割分担、SNSの効率化など、運営側の組織化を行っていく必要がある。

・活動方法

要望があった地域で開催する準備の中で最も困難だったのが、会場の確保だった。

要望があった地域で会場の紹介、提案を受けても、定期的を使用している団体などがあり、予約が取れない事がほとんどだった。少人数にしての開催であれば可能であることが多かったので、次年度からは少人数でできる形をとる。

また、2月以降からは、コロナウイルス感染予防対策の影響で、中止となることが多数あったため、今後はオンラインでもできる形をとることが必要と考え、5月からの実施のための準備を進めている。

② 「みんなであそBOW」

・活動方法

対面だけでは活動できるエリアの制限、会場確保も難しいため、オンラインでも開催できるようにして、活動エリアの拡大、参加者の利便性の向上を目指す。

・開催準備

2013年から7年間続けてきて常連の方も増え、それに伴い子どもの年齢の幅と、スキルの幅も広がったため、スタッフのスキルアップが必要となった。子どもスタッフのスキルアップも含めて、準備期間をしっかりと設けて、活動の向上に務める。

③ 「育児講座」

・開催日程

毎年、年に1度、年度の終盤に集中的に行い、次年度に向けて心構え、準備として活用してもらっていたが、参加者から年に2回程度の開催要望が多数あった。アンケートなどを実施して開催日程の調整を行う。

全体として、対面だけでなく、SNS、オンライン等を使い、今回のコロナウイルス感染予防対策などの状況でも、切れることなく、「つながり」が持てる活動基盤、組織作りを行っていくことが必要だと実感。今後も両輪で活動を継続していく。